

KELES Newsletter



2007年度第3号

事務局：〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

関西大学 外国語教育研究機構 吉田信介研究室内

Tel:06(6368)0477 e-mail: keles@infoseek.jp URL:http://keles.hp.infoseek.co.jp/ 2007年12月20日発行

◆ 巻頭言(会長挨拶)

10年間でできる英語教育改革

瀬川 俊一

科学・技術の急速な革新により、20世紀は地球単位で世界が変動した時代でした。この傾向は今世紀には更に増幅されると予想されます。地球規模での人々の交流が盛んになるにつれて自由に意思疎通するため、世界の基軸言語としての英語の果たす役割が更に高まっています。通用言語としての英語への期待感の高揚です。

19世紀後半に至るまでの長期間、外国語教授法として君臨し続けてきた「文法・翻訳教授法」、いわゆる訳読教授法ではコミュニケーション能力の修得が叶わないため、それに替わる数々の教授法が提案されました。21世紀初頭の現在、言語の基本4技能の修得を可能にする最善の教授法は、コミュニケーション・アプローチ (communicative approach / communicative language-teaching) (CAと略記) に基づく指導である、とされています。(土屋澄男・広野威志『新英語科教育法入門』研究社、2000年刊、第16章「英語指導の原理」、特に125頁を参照。) (私流に言えば、「ちゃんこ鍋式英語教育法」です。担当する「英語科教育法」の授業で、いつも、このように言って説明しています。呼称理由: コミュニケーション能力の育成に役立つものであれば何を利用してもし良い教授法が、食べられる食材であれば何でも活用する「ちゃんこ鍋料理」に似ているから。この不肖が名づけたニックネーム、如何でしょうか。)

次の二項を確実に実施し続けられれば、表題のようになります。

1. 英語科教員免許取得用必修科目の「英語科教育法」担当教員は、第一部「指導理論・原理編」指導の際に、重点的にCAの指導をする。第二部「実技・

授業実践編」では、模擬授業実践により、CAによる授業実習を行い、その直後に「合評会」で改善すべきところを研修させる。授業担当者に模擬授業実践の実演が出来ない場合には、中・高校の現職教員・OB教員(但し、CAの理解・実践者)の応援を得て、教室でのCAによる指導方法を実習させる。

2. 新任教員採用の権限を有する全国の教育委員会では、次の2項を厳格に適用して採用人事を実施し続ける。①文部科学省提示の英語力(英検準1級合格・TOEIC 試験730点以上・TOEFL試験550点以上)保持者、②口頭試問(面接)により、CAによる授業実践能力の有無を厳格に調べて、実践可能な応募者のみを新規採用する。

全国大学・短大で「英語科教育法」講義を担当の先生方へ！ 一校の例外も無く、1. を実行し続けようではありませんか。採用側の教育委員会には、2. の厳格な遵守を切にお願いいたします。

10年後の英語科教員の構成は、学部卒業生では22歳から32歳までの教員は全員CAによる授業を実践し、就職難時代の10年間に難関を突破した現職の20歳代の教員は30歳代となり、全英語科教員の20歳代から40歳過ぎまでの、最も中核となる教員世代がCAによる英語教育実践者になります。その時には、英語教員は学校で何をやっているのだ、学校で学んだ英語は全く使いものにならぬ、と言う非難・罵声を浴びることも無くなっている、と言えるのではないでしょうか。

一字で表せば「偽」となる今年最後の挨拶代わりに認めた拙稿が、10年後に、やはり「偽」の年の似非論考であったか、と揶揄されない時代になっていることを願いながら。

会員の皆様方、良いお歳をお迎え下さい。(書齋にて、平成19年12月16日。京都府立大学名誉教授。)

◆ KELES第7回セミナー(神戸地区)報告

- ・日時：2007年10月20日(土) 14:30~16:00
- ・会場：(神戸) 三宮研修センター
- ・講師：横田玲子氏(神戸市外国語大学)
- ・テーマ「小学校英語活動“尋ねて、数えて、歌って、踊って”—Authenticityを考慮した英語での工作活動」

去る10月20日土曜日、神戸の三宮研修センターにて、KELES第7回セミナーが行われました。講師は神戸市外国語大学の横田玲子先生で、テーマは「小学校英語活動“尋ねて、数えて、歌って、踊って”—Authenticityを考慮した英語での工作活動」でした。30分ほどの小学校の英語活動についてのプレゼンテーションの後、さっそく実際の英語活動であるFive Fat Sausagesに取り組みました。Five Fat Sausagesは横田先生が実際に小学1年生を対象に行った英語活動でTotal Physical Responseを用いた工作活動でした。まず、色画用紙を使用し、フライパンを作り、その上に5本のソーセージを紙で切つてのせると言う内容でした。

この活動も文にすれば以上の内容ですが、この中に小学校の先生らしい発想がたくさん隠されていました。色画用紙の色は自分で選ばせること、ソーセージにする色画用紙は友達からもらったり自分のをあげたりすることでごみを少なくすること、作ったものをゴミとして捨てられないようにするため、作った記念写真をはり家に飾れるようにすることなど随所にちょっとした工夫がたくさん隠されていました。

横田先生は小学校の英語活動は、どんな子どもたち、どんなクラスを育てたいかと考え、そのために英語活動をどう役立てるかという視点が重要であり、しゃべるなど言ってもしゃべりたくなる、読むなど言っても読みたくなるような教材作りが重要だとおっしゃっていました。小学校英語教育というとすぐに発音は早い時期しか身につかないであったり、早くから慣れさせておくことが重要ということが挙げられますが、それより小学校での教育で本当に重要なことは何なのかがこのことばに詰まっているように思いました。しかし、やはり現場はそれどころでないというのも実際の状態だということもよくわかりました。

(田中泰明・神戸大学大学院生)

◆ KELES第8回セミナー(京都地区)報告

2007年12月16日、京都外国語大学において、石川保茂先生(京都外国語大学・同短期大学)による「明日からの授業に役立つインターネットサイ

ト活用術」と題したワークショップが行なわれた。約20名の参加者が石川先生の巧みな話術と丁寧なご説明とご解説のもと、次々と繰り広げられる魅力的な16のタスクに挑戦した。

実習内容は、即座に利用可能な無料インターネットサイトの紹介と活用法、Web辞書、コーパス検索、映画のスク립ト・音声、ESL listening、音声合成、2D/3Dアニメーションなどの情報検索の基本的な操作方法、情報の利用方法、英語表現の検索方法、授業でのインターネットサイトの活用方法、マルチメディア教材の作成方法などであった。

90分の予定を延長して約2時間あつという間に時が流れ、盛り沢山の情報を得ることができた。まさに中学校や高等学校の英語授業において明日から役立つ内容で、生徒たちが喜ぶ顔を思い浮かべながら、参加者自身が楽しめたワークショップであった。USBで持ち帰った資料を確認しながら実習を振り返り、教材作成や授業改善に是非役立てたいと思っている。

石川先生、KELES事務局の先生方、有意義なセミナーを企画・実施していただき有難うございました。(参加者より)

◆第11回卒論・修論研究発表セミナー案内

- ・日程：2008年2月16日(土)
 - ・会場：流通科学大学(神戸市西区学園西町)
 - ・発表申込期間：2008年1月10日(木)~24日(木)
 - ・発表申込方法：発表要旨を日本語約200字または英語約100語
 - ・発表言語：英語または日本語
 - ・研究領域：外国語教育、言語教育、及び関連分野
- ※詳細は同封の案内、および、学会ホームページをご覧ください。

◆第34回全国英語教育学会 東京研究大会

- ・会場：昭和女子大学
- ・日程：2008年 8月9日、10日
- ・発表申込先
相澤 一美先生(東京電機大学)
- ・締切：平成20年5月23日(金) 締切り
- ・申込方法の詳細：平成20年4月上旬頃提示
- ・予稿集原稿送り先
合田 美子先生(青山学院大学)
- ・締切：平成20年6月13日(金)

・提出方法の詳細

平成20年4月上旬頃提示

<KELES担当企画（課題研究フォーラム）>

・テーマ：「多読を科学する(1)：第二言語としての英語の学習における効用」

・コーディネータ（企画・運営）：

門田 修平氏（関西学院大学）

<大会案内ホームページ>

[<http://www004.upp.so-net.ne.jp/kanto/zenkoku/index.html>]

◆KELES第10回セミナー（和歌山地区）のお知らせ

・日時：3月15日（土）1:30（開始）

・場所：和歌山市民会館

◆第35回全国英語教育学会 鳥取研究大会

・会場：鳥取大学 湖山キャンパス

・日程：2009年8月8日、9日

・KELES担当企画：課題研究フォーラム(2年目)

◆紀要(ARELE)第19号 今後の予定

・審査結果通知：2008年2月初旬

・紀要第19号刊行：2008年3月末

◆KELES紀要SELT31号

<今後刊行までの予定>

1月末日 修正原稿締切

3月末日 刊行

（紀要編集委員長 石川慎一郎）

◆新入会員紹介 9月2日－11月13日（敬称略）

濱本 秀樹、西田 めぐみ、曾 罌

前田誠一郎

（会員名簿担当 倉本充子）

◆会費納入のお願い

年会費は以下の通りです。

1. 一般会員（関西のみ）5,000円
2. 一般会員（関西＋全国）7,000円
3. 学生会員（関西のみ）3,000円
4. 学生会員（関西＋全国）5,000円

未納の方には、「納入のお願い」と「振込票」を同封させていただきました。なお、会費納入などに関するお問い合わせは、会計 岡 良和 [oka@uhe.ac.jp] までお願い致します。

（会計 岡 良和）

※2008年度の研究大会発表資格につきましては、別紙をご参照下さい。

◆紀要DVD販売のお知らせ

待望の紀要DVDが刊行！

英語教育研究の全貌をPC画面に！

会員特別価格 3,000円

『英語教育研究』過去28年分、『卒論・修論研究発表セミナー発表論文集』過去9年分（いずれも2005年度刊行分まで）を全て電子化。鮮明な画像で論文を通読できるほか、OCRによるテキスト情報を埋め込みましたので、論文内の単語などでの検索も可能になりました。

岡 良和[oka@uhe.ac.jp]まで

関西英語教育学会 第12回研究大会

○日程：2008年5月24日（土）全1日

○会場：神戸大学国際文化学部キャンパス

○講演：田中 茂範 先生（慶應義塾大学環境情報学部教授）

第34回全国英語教育学会 東京研究大会 発表資格

2008年 8月9日、10日、昭和女子大学にて開催されますが、単独発表、または共同発表の代表者は、2008年2月末日までに2007年度分の会費を完納していることが必要ですので、ご注意下さい。

※詳細は、4ページの「会費納入期限」をご覧ください。

2008年度研究大会発表資格取得のための会費納入期限

所属学会	全国英語教育学会 (JSELE)		
	関西英語教育学会 (KELES)		
発表形態	全発表	単独・共同発表代表	共同発表代表以外
会費納入期限	2008年5月初旬	2008年2月末日 ^{※1}	2008年6月初旬
大会日程	2008年5月最終週末	2008年8月第1週頃	
会費	一般	5000円	7000円 ^{※2} (含KELES会費)
	学生	3000円	5000円 ^{※2} (含KELES会費)

※1: JSELEの発表資格は、前年度(2007年度)納入済者に限ります。

※2: JSELEの入会資格として地区学会(KELES)会員である必要があります。2007年12月1日現在

KELES年間活動計画

月	日	イベント名	会場	講師	内容
5	26(土),27(日)	研究大会	摂南大学	東 照二氏	社会言語学
7	7(土)	セミナー06	大阪: 関西大学	水本 篤氏	Excel 統計
10	20(土)	セミナー07	神戸: 三宮研修センター	横田玲子氏	小学校英語活動
12	16(日)	セミナー08	京都: 京都外国語大学	石川保茂氏	Internetの教育活用
H20. 2	3(日)	セミナー09	奈良: 天理大学	玉井 健氏	シャドーイング
	16(土)	第11回卒修セミナー	流通科学大学	卯城祐司氏	リーディング研究
3	15(土)	セミナー10	和歌山市民会館(予定)		
5	24(土)	研究大会	神戸大学	田中茂範氏	語彙研究(予定)
8	9(土), 10(日)	全国英語教育学会	昭和女子大学		

最新情報が学会HPにて随時更新されますので、
頻りに閲覧いただきますようお願いいたします。

<http://keles.hp.infoseek.co.jp/>